



【発行所】東京理科大学新聞会
<神楽坂校舎> 東京都新宿区 神楽坂1丁目3番地 2号館 2515 部室
<九段校舎> 東京都千代田区 九段北1-14-6
tuspress@gmail.com
http://tuspress.jp

理数教育研究センター センター長に就任

秋山 仁

「才能は努力とともについてくる。」

本学の卒業生であり、数学者の秋山仁先生(以下、秋山先生)が今年の4月に東京理科大学理数教育研究センターのセンター長に就任した。東京理科大学理数教育研究センターは、平成23年10月に新設された総合教育機構の機関のひとつである。

本学は創立以来多種多様な分野で活躍する卒業生を送り出し、特に理数教育分野において指導力を持った教員を数多く輩出してきた。しかし社会の変化が著しい昨今、教育が時代の変化のスピードに付いていないと指摘されるなど教育困難な時代とされてきた。



▲センター長に就任した秋山先生

秋山先生といえば、髭を生やし長髪にバンダナがトレードマークの数学者である。長年、テレビやラジオ、本などを通じて様々な角度から数学の魅力を伝えてきた数学の伝道者であり、かつては駿台予備校のカリスマ講師として絶大な人気を誇っていたことでも有名だ。秋山先生の語る数学に魅了された理科大生も多いだろう。

数学の道に進むことを宣言してからの短い期間、受験勉強に必死に取り組んだ結果いくつかの大学に合格した。最終的に本学を選んだ理由は、「高校の時、大好きだった数学の先生が2人とも本学の卒業生だったことや、漱石の『坊っちゃん』が好きでな

バイトや遊びに明け暮れながらも、自分の勉強を欠かすことは無かった。ただ授業にあまり出ていないため、自分で勉強していたところが試験で出ればその科目だけ点数が良かったりしたが、それ以外の成績はボロボロだったという。周りの友人が、「数学で食べられないことなんかできないから」と数学とは関係ない職業に就職を決めていくなか、秋山先生は「4年間勉強をしてもまだまだ理解し

秋山先生は自分の体験から、「自分には数学の特別な才能があったとは思わないが、今考えると数学に対しての情熱があったからこれまでに続けることができたのだと思う」と語る。「50年近く数学に携わってきたというよりも、才能がどうというよりも情熱を持ち続けたということ、どんな困難にぶちあたっても数学の世界で自分が生きていける道を開拓してくれた。後輩たちに伝えたいのは、自分のやりたいこと、好きなことを生みかけてやり続けて欲しいということ。好きなことなら努力ができる。正しい努力をすれば、何らかの道が切り拓け、やってみれば道が切られて、『ああ、自分にはこんな能力もあったんだなあ』と思うものなんだよ。だからまずこの大学生活でやりたいことを見つけ、夢を諦めないで生半くやってみるのよ。そして、その分野でこの人がやってできないなら誰もできない、というようなプロの仕事人を目指してほしい。この東京理科大学からそのような人が次々と生まれ、世界で活躍することを願っています」と熱いメッセージを送ってくれた。

高校時代、秋山先生は「何に忙しかったのかは覚えていないが、毎日何かに熱中していた」という。数学も成績が特に良いというよりはなかつたが好きなことにはなかつた。高3の進路指導のときに数学の先生に将来数学者になりたいと伝えると、しばらく絶句された後、次のように言われたそうだ。「10年20年で諦めることになるのなら今からやめておきなさい。もし本当に数学が好きで、どんなことがあっても生涯掛けて挑戦するということならやってみなさい。こうして高校生の秋山先生は、できてはダメなことも一生懸けて数学をやっていく決意を固めたのだ。

大学院では、厳しい指導でも有名だった偏微分方程式の教授のもとで勉強を続けていたが、なかなか芽が出ていかなかった。そのなかで、本学の恩師である応用数学科の浜田隆資先生に相談しに行ったところ、新しい分野の勉強を一緒に始めないかと誘われ他大学の大学院生にもかかわらず毎日のように本学の研究室に通い、ゼミを行なってもらったという。その分野というのがグラフ理論である。当時日本では研究している人が少なく、学会で発表してもなかなか関心を集められなかったそうだ。その後アメリカのミシガン大学へ留学し、グラフ理論の分野で有名なハラリー教授の下で研究をする。「二日一本論文を書け」という言葉に象徴される厳しい教授に鍛え上げられ、この分野で国際デビューを果たし、その後研

究対象を離散数学に広げ著名な専門誌で数多くの論文を発表し、海外の主要な学会や研究機関に招待講演者として招かれ国際的な研究者として名実ともにステータスを確立していく。

7月7日の七夕。日本一有名な遠距離恋愛カップル、織姫と彦星が天の川を越えて再会できる、年に一度の日だ。なんともロマンチックな話である。皆さんはこの日、短冊にどのような願いを込めたのだろうか。▼織姫と彦星は天文学的にまだ若い星で、数億歳。どちらの星も数十億年程度は生きることができ、人間に比べれば永遠に思えるくらい長い寿命である。そう考えると長寿の星にとって、1年に1度というのは実は相当な頻度だとわかる。星にとつての80億年の寿命を80歳まで生きる人間の寿命に換算すると、実に3秒に1度以上逢っている計算だ。▼時はそれぞれの人の歩むもの。というシェイクスピアの言葉がある。星と人間とは、時間を比べることは到底できないかもしれない。だが、人間同士では別だ。子どもの頃は一日がすごく長かったと思う。しかし、大学生活の中で、いつの間にか一週間が過ぎていたというようなことが最近よくある。人間は、80歳まで生きるかと仮定したとき、折り返し地点までの体感時間は約19歳だそう。大学生のほとんどが既に人生を折り返していることになる。そう考えると、いかに自分が時間を無駄にしていたかということに憤りを覚える。あと半分しかない人生に寂しくなる。▼大学生活をどう過ごすのか、残りの人生をどう生きるのかによって、時間の速さは人それぞれだろう。私は来年の七夕、織姫と彦星の何千万倍もの年をとって



▲大学卒業時の秋山先生

の応援があつて上智大学に新設された数学科の大学院に一番で合格する。一番だったのは、その年の外部からの受験者が秋山先生一人だったからだ。

秋山先生は自分の体験から、「自分には数学の特別な才能があったとは思わないが、今考えると数学に対しての情熱があったからこれまでに続けることができたのだと思う」と語る。「50年近く数学に携わってきたというよりも、才能がどうというよりも情熱を持ち続けたということ、どんな困難にぶちあたっても数学の世界で自分が生きていける道を開拓してくれた。後輩たちに伝えたいのは、自分のやりたいこと、好きなことを生みかけてやり続けて欲しいということ。好きなことなら努力ができる。正しい努力をすれば、何らかの道が切り拓け、やってみれば道が切られて、『ああ、自分にはこんな能力もあったんだなあ』と思うものなんだよ。だからまずこの大学生活でやりたいことを見つけ、夢を諦めないで生半くやってみるのよ。そして、その分野でこの人がやってできないなら誰もできない、というようなプロの仕事人を目指してほしい。この東京理科大学からそのような人が次々と生まれ、世界で活躍することを願っています」と熱いメッセージを送ってくれた。

- 2 東京の新名所ガイド
- 3 夏のイベント特集
- 4 TUS Storage / サークル紹介

▼7月7日の七夕。日本一有名な遠距離恋愛カップル、織姫と彦星が天の川を越えて再会できる、年に一度の日だ。なんともロマンチックな話である。皆さんはこの日、短冊にどのような願いを込めたのだろうか。▼織姫と彦星は天文学的にまだ若い星で、数億歳。どちらの星も数十億年程度は生きることができ、人間に比べれば永遠に思えるくらい長い寿命である。そう考えると長寿の星にとって、1年に1度というのは実は相当な頻度だとわかる。星にとつての80億年の寿命を80歳まで生きる人間の寿命に換算すると、実に3秒に1度以上逢っている計算だ。▼時はそれぞれの人の歩むもの。というシェイクスピアの言葉がある。星と人間とは、時間を比べることは到底できないかもしれない。だが、人間同士では別だ。子どもの頃は一日がすごく長かったと思う。しかし、大学生活の中で、いつの間にか一週間が過ぎていたというようなことが最近よくある。人間は、80歳まで生きるかと仮定したとき、折り返し地点までの体感時間は約19歳だそう。大学生のほとんどが既に人生を折り返していることになる。そう考えると、いかに自分が時間を無駄にしていたかということに憤りを覚える。あと半分しかない人生に寂しくなる。▼大学生活をどう過ごすのか、残りの人生をどう生きるのかによって、時間の速さは人それぞれだろう。私は来年の七夕、織姫と彦星の何千万倍もの年をとって

UNIV. CO-OP 7号館2階 生協トラベルセンターに!!

まずは 大学生の夏は、旅をしよう! 自動車教習所のお申し込みはお早目に!

テーマのある 目的のある